



五月のある日

及川ふみ

粘土のちしどりも出来た。いつもならお部屋のあと片づけをすませて新緑の庭へとび出して遊ぶのに今日も雨だ。よく降る雨だ保姆の自分もこの雨がうらめしいが幼児は尙さらどんなにうらめしい事だせう。

窓ぎわに椅子をもちよつて「ナンデセウ」を始めた。

四月號のコードモノクニの長尾豊氏のナンデセウです。これは時々に向向にごさを敷いた上でやる時もありますので幼児たちもすつかり覚えてこんでしまひました。

ワタシハ イツデモ タタカレル タタケバ大
キナ オトガスル、ポツチャン ワタシハナン
デセウ
と云ひ出せば

ソナラオマヘハ オタイコダ
ドンドコドン ドンドコドン
と幼児は應じる

ワタシハ クルクルヨク マハル 一ボンアシ
デモ コロバナイ ポツチャン ワタシハナ
ンデセウ
とつゞけると

オマヘハ コマダ サウダラウ

クル クル クル クル クル クル

ワタシハ トラデハアリマセン ソレデモトラ

ニニテキマス トラニニテキテ ウチニキル

ワタシハ ポツチャン ナンデセウ

オマヘハネコダ サウダラウ

と幼児がなどをといたり自分がなどをといたりして一しきり遊ぶ。

そのうちに一幼児

朝早く一本道を通るもの何——に

とかければ

雨戸でせう

とすぐに二三人がとく

また一人

いるときいらないうで いらないうきにいるもの

何に

と云へば

あふろのふた

と二三人がまたすぐとく

今度は先生が云ひませう

一番外側に針の着物次がかたい皮の着物 三番

目にはうすい着物を着てゐるものは何でせう

云く

毛虫だ——

ちがひます又一人

栗だ栗だ

今度はね

外側はかたいが内側はやはらかくて、圓いけれ

どもまりの様にはまるくない、横にはころく

ころがるがたてにはころがらないもの何——

に

それは卵だお姉さんにおそはつた

それでは

赤い袋の中の赤い坊さん何に

ほうづき ほうづき と連發した

それでは

始は四本あしであるいて次は二本あしで歩いて

あとで三本あしであるくもの何——に

人間だ 人間だ

とこれもよく知つてゐるまだ知つてゐるなどはありませぬかね。

一幼兒

上で火がもえてあついで涙をポロリ ポロリとあ

とすもの何に

何でせう 何でせう 皆が考へた煙突から出る

火の子かと思つたが少しあかしいなか——このな

どはとけない。

博久さん降參 降參 おしへて頂戴

ローソクだよ

蠟の、流れる涙には思ひもよらなかつた。ローソクにはこの頃ご縁が遠い一つ、きいて見ると停

電の時に使ふものだよと四五人がいつた。

又一人、僕知つてゐるなどがあるよ

口からたべて下から出すもの何——に

澤山ある様でもなか——ないものだこつそりびらうなことをいふ人もあつた、提案者はそれをきゝつけて憤慨してゐる、口からたべて背からはくものならストーブだがと一人ごとを云つてゐるとそれなら僕も知つてゐると横から云ひ出したなか——とけない提案者は得意になつて

ポストだよ

と教へた何るほど

となどの會はあしまひにしてお辨當の支度をはじめた。

神戸市立神戸幼稚園長望月クニ女史は本月五日横濱出帆、九月まで滯米幼稚園視察の由